

と考える。

青木¹⁾は、薬疹には薬剤の投与開始後しばらくして生ずる急性型と、薬剤を長期投与中に生ずる慢性型とがあり、急性型では感染症をきっかけとしてアレルギーが誘発されるのが原因であると指摘している。本報告の第1例は永年にわたってあった神経痛の悪化があって注射を受けており、神経痛の悪化は何らかの体調の変化、たとえば軽い感染症があってもたらされたかも知れない。第2例では、注射前に感冒症状が認められている。この点からみれば、アレルギー機序によって、たとえば毛細管壁の一過性の脆弱性を来したということも想定できる。たまたま一医院で2例、たて続けに同一製剤で生じたので注射剤に対する疑いが持たれたが、もしそうとすれば月間生産数の大きさからして、もう少し多くの症例が発生してしか

るべきであろうと考えられる。したがって本症の発生機序は確定できなかったが、アレルギー機序と注射剤の直接作用の両者の重複によって発生した可能性が強いと考えられる。

稿を終るにあたり、種々御協力いただいた東洋ファルマー株式会社に感謝いたします。

文 献

- 1) 青木敏之：皮膚，**24**；742，1982.
- 2) Karpatkin, S. : Amer. J. Med. Sci., **262** ; 68, 1971.
- 3) Marsh, F.P. et al. : Ann. Rheum. Dis., **30** ; 501, 1971.
- 4) 西岡 清，他：皮膚，**19**；115，1977.
- 5) 齊藤 隆三，増沢 幹男：皮膚臨床，**20**；129，1978.

◇ 編集室だより ◇

雑誌名の省略について

最近、引用文献に掲載される雑誌名の略称は、1970年に American National Standards Committee から出された「International List of Periodical Title Word Abbreviations」による略し方が、国際標準として、一般化してきました。皮膚科領域に関係のある言葉の例を下記にあげました。御投稿の際には、これらを参考にしてください。

「臨床皮膚科」編集室

Acta Dermato-Venereologica : Acta Derm. Venereol.,
 Akutuelle Dermatologie : Aktuel. Dermatol.,
 Archives for Dermatological Research : Arch. Dermatol. Res.,
 Archives of Dermatology : Arch. Dermatol.,
 Australasian Journal of Dermatology : Australas. J. Dermatol.,
 British Journal of Dermatology : Br. J. Dermatol.,
 Clinical Allergy : Clin. Allergy,
 Clinical Experimental Dermatology : Clin. Exp. Dermatol.,
 Contact Dermatitis : Contact Dermatitis,

Dermatologica : Dermatologica,
 Dermatologische Monatsschrift : Dermatol. Monatsschr.,
 Dermatology Digest : Dermatol. Dig.,
 Hautarzt : Hautarzt,
 International Journal of Dermatology : Int. J. Dermatol.,
 Journal of Cutaneous Pathology : J. Cutan. Pathol.,
 Journal of Investigative Dermatology : J. Invest. Dermatol.,
 Zeitschrift für Hautkrankheiten : Z. Hautkr.,

〔日本の場合〕

日本皮膚科学会雑誌（皮膚科及び泌尿器科雑誌，皮膚科泌尿器科雑誌，皮膚科性病科雑誌）：日皮会誌，
 西日本皮膚科：西日皮膚，（皮膚と泌尿：皮と泌）
 臨床皮膚科：臨皮，（臨床皮膚泌尿器科：臨皮泌）
 皮膚科の臨床：皮膚臨床，
 皮膚科紀要：皮紀要，
 皮膚：皮膚